

# まきは

## 「若枝という名の人」

『万軍の主はこう言われる。若枝という名の人がある。

その人のもとから芽が出 その人は主の宮を建てる。』

(ゼカリヤ書 第6章12～13節・旧約聖書1462頁)

はじめに

ゼカリヤはダレイオス王の治世、つまりペルシアが支配していた時代に活動していた預言者です。ダニエルより少しあとの人で、ハガイと共に神殿再建の力となりました。この神殿再建とは、文字通りの意味よりも、一旦失われた神への信仰の再建を取り戻すことに重点が置かれています。信仰再建の象徴が神殿再建なのです。

ここから私たちがそれぞれの生活の中に主の栄光が現されていくのだという励ましを受けたいと願います。

ヨシュアの戴冠

今日取り上げた箇所は8つ幻が語られたあとに臨んだ主の言葉です。

幻は今までのイスラエルの不信仰を思い起こさせ、主が再びその信仰を回復させる計画を実行されるのだということを現しています。そして、この戴冠式の場面へと変わり、信仰が回復された時に、主が驚くべきわざを起こしてくださるのだと語るのです。

そこで注目しなければならないのが、ヨシュア存在です。

イスラエルは王国を樹立してから、王、祭司、預言者という三権分立のような役割を持つ者たちで国を動かしていました。王はダビデの家から選ばれ、祭司はレビ人が担っていました。ところが、ここで大祭司となったヨシュアが王としてのしるしである冠を与えられています。王と祭司の役割が一つに結び合わされた瞬間でした。それこそが、「若枝」なのです。

若枝とは

「エッサイの株から一つの芽が燃え出で その根から若枝が育ち」(イザヤ 11:1)、「この人は若枝のように」(イザヤ 53:2)「私はダビデのために正しい若枝を起こす」(エレミヤ 23:5、33:15)「若枝を来させる」(ゼカリヤ 3:8)と、この「若枝」は旧約聖書においてメシヤ、救い主を象徴する言葉としてのみ用いられてきた言葉です。つまり、私たちの信仰の再建は、この若枝として私たちにもたらされた救い主イエス・キリストによって成し遂げられる、そのことをもう一度見つめるべきだと思います。

私たちの救い主

当時の民たちは様々な困難な状況に神殿再建を途中で諦めていました。そこで私たちの信頼すべき王、主であり、神の前にあって強力な執り成し手、そして自らが約束の言葉であるという決定的な救い主イエスが、私たちの目の前に、「あなたがたに抱いている神の計画」を成就させるために現れてくださった。成就するしるしとして私たちに自らを現してくださった。だから「もしあなたがたの神、主の声を心して聞くならば、そのようになる」(15)のです。

私たちの手は止まっていないでしょうか。私たちは諦めてはいないでしょうか。主がのすべてを実現される。実現されるために、私たちの前に「若枝」として現れてくださったのです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】  
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



## 今週の祈り

「彼に言いなさい。『万軍の主はこう言われる。若枝という名の人がある。その人のもとから芽が出る。その人は主の宮を建てる。彼こそが主の宮を建て、彼こそが威厳をまとい、王座に着いて治める。王座の傍らに一人の祭司がいて、この二人の間には平和への思いがある。』…遠方の人々が来て、主の宮を建てる。こうして、あなたがたは万軍の主が私をあなたがたに遣わされたことを知るようになる。もしあなたがたの神、主の声を心して聞くならば、そのようになる。」(ゼカリヤ書 6:12、13、15)



信仰をもっていても、跳ね返されてしまうような大きな問題があります。その前に出ると、力が萎えてしまい、何もすることができず、あきらめるほかならないような気持ちになっていました。しかし、このようななさけない私を憐れんでくださり、主イエスさまは私に勝利をもたらし、その問題を解決するために来てくださったのです。それをしりました。あなたは私の主です。また私を執り成してくださるお方です。御言葉そのもののお方です。主の声を心して聞くならば、そのようになると信じます。御名によってお祈りいたします。アーメン。

## 深読みにチャレンジ!

### 箴言 (74) 第4章1~2節

\*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「子らよ、父の諭しを聞け。分別をわきまえるために思いを向けよ。あなたがたに良い教訓を授ける。私の教えを捨ててはならない。」

◎口語訳 「子供らよ、父の教を聞き、悟りを得るために耳を傾けよ。わたしは、良い教訓を、あなたがたにさずける。わたしの教を捨ててはならない。」

◎新改訳 「子どもらよ。父の訓戒に聞き従い、悟りを得るように心がけよ。私は良い教訓をあなたがたに授けるからだ。私のおしえを捨ててはならない。」

### 「父の願い」

箴言の前半は父親からの諭しの言葉が中心です。1章8節から始まる「子よ、父の諭しを聞け」、2章1節からの「子よ、もし私の言葉を受け入れ…るなら」、3章1節からの「子よ、私の教えを忘れず」、21節からの「子よ、よき考えと慎みを保ち」に続く、第5回目の呼びかけがこの4章1節です。この呼びかけは少なくとも9回記されているのですが、この4章1節のみ「子らよ」と複数になっているのです。なぜでしょう。

もし、子どもが複数いて(いたはずです)、その子どもたちに語っていたならば、最初から「子らよ」と呼びかけるはずです。一人ずつ呼び出して語ったのでしょうか。「私は罪人」なのですが、「私たちは罪人です」と言うと、薄まってし

### 【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1 ~ 9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1 ~ 22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17 ~ 31:31)
  - a 知恵ある人の言葉 (22:17 ~ 24:34)
  - b ソロモンの言葉 (25:1 ~ 29:27)
  - c アゲルの言葉 (30:1 ~ 33)
  - d レムエルの言葉 (31:1 ~ 31)

まう印象があります。同様に、一人ひとりに伝達するためには「おまえたちよ」というより、「おまえよ」と言ったほうが確実に受け取ることができます。ですから「子よ」と呼びかけたのではないのでしょうか。

ではなぜ「子らよ」なのでしょう。3節に「私も父の子」とあることから、子どもたちにも信仰を継承してほしいという意思を感じます。「おまえたちが互いに励まし合い、代々受け継がれてきた信仰を持ち続けてほしいのだ」そのような願いがあったからではないのでしょうか。

## 聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

### 【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】 ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

サムエル記下第19章5節「王は顔を覆い、大声で叫んだ。『わが子アブシャロム。アブシャロム。わが子。わが子よ。』」◆ダビデの溺愛ぶりをみる。「私が代わって死ねばよかった」と聞いた時、ダビデを守り、ダビデのために戦った者たちがどのように感じるのか、考えなかったのだろうか。ヨアブが「あなたは、すべての家来の顔をはずかしめられました」と言ったのは当然である。ダビデは以降、ヨアブを退けるようになるのだが、ダビデにも弱い部分があったわけで、それを自覚し、その忠告を受け入れなければならなかったはずだ。

### ●賛美 / 424 ●祈禱課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】 ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

サムエル記下第20章2節「そのため、イスラエルの人々は皆ダビデから離れ、ビクリの子シェバに従った。」◆サウルが王となった当初から、イスラエル12部族はまとまりがなかった。それぞれが自分の思惑通りにことを動かそうと考えていたからだ、アブシャロムがダビデに対抗して立った時、ほとんどがアブシャロムについた。そしてアブシャロムが死ぬと、ダビデに寝返り、ここでシェバが声をあげると、また多くの者たちがシェバについて行った。ただ自分たちに都合が良い立場にしようと行動し続けるなら、やがて自分の生き方を見失う。

### ●賛美 / 425 ●祈禱課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】 ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

サムエル記下第21章25節「ダビデはギブオン人に言った。『あなたがたに何をしたらよいだろうか。どのように償えば、主の民である我々を赦してもらえるだろうか。』」◆ギブオン人との出来事については、うかつにも遠くから来た民だと勘違いし、滅ぼすことができなかったばかりか、そこに住んでよいとの契約を結ばざるを得なくなり決着をしていたのだが、それをサウルが破っていた。このことによりイスラエルに飢饉が起こる。それほどに他国人でも契約は重要であった。ダビデはそれを理解し、代表として真摯な謝罪を実行した。

### ●賛美 / 426 ●祈禱課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

サムエル記下第22章2節「主はわが岩、わが城、私を救い出す方。」◆サウルの前で演奏する者選ばれたほどだから、ダビデは詩歌に通じていた。おそらく、毎日のように豎琴を弾きながら歌を歌っていたのではないだろうか。しかし、この詩(詩編18)がわざわざとりあげられているのは、ダビデにとって長年悩まされていた大きな問題が解決されたからだと思われる。サウルとの関係は最悪だったが、神は中でも守られた。神が生きておられることを実感した時、主への告白が賛美となって口から出てきたのだ。

●賛美／427 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため(社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅)、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

サムエル記下第23章5節「私の家は神と共にある。神は永遠の契約を私に賜り すべてを整え、すべてを守られる。私の救い、私の喜びを すべて神はかなえさせてください。」◆「ダビデの最後の言葉」とあり、ダビデがその生涯にわたって神との契約を覚えて歩んでいたことがわかる。すべてが備わって、確実な、永遠に変わることはない契約は、どんな苦難の時であってもダビデを支えた。私たちの契約は主イエスである。この主イエスの十字架と復活を信じる者はすべて、この契約を結んだ者として生きることができる。

●賛美／428 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師(牧師一家)、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

サムエル記下第24章10節「民を数えたことは、ダビデの良心の呵責となった。ダビデは主に言った。『私は重い罪を犯してしまいました。主よ、どうか僕の過ちを見過ごしてください。大変愚かなことをしました。』」◆人口調査は国勢調査であり、どのくらいの人たちが神のために働くことができるかを把握するためだったのだが、この平定された時代、それは必要なかった。むしろ、国境を広げようとする野望とみなされ、しかも、神の力ではなく、人の力を誇ろうとした。「愚かなこと」であり、神からの怒りを受けてしまった。誘惑に負けてはならない。

●賛美／429 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

列王紀上第1章5節「ハギトの子アドニヤは思い上がり、『この私が王になるのだ』と言って、戦車と騎兵と五十人の護衛兵をそろえた。」◆いつの時代にも後継者争いはあるのだが、アドニヤは自分の実力を知らぬまま、愚かにも取り巻きに担がれ、後継王に名乗りを上げてしまう。そこにイスラエルのために祈る姿はなかったし、自分が神の前にふさわしいかどうかまったく考えていない。結果、ダビデがソロモンが後継王であると宣言したことで、潮が引くようにまわりに誰もいなくなった。神の前の高ぶりは、みじめな結果をもたらす。

●賛美／430 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



# おやこでせいしよ

## ●きょうのせいしよ

【サムエルきじょう 26:17~25】

「かみにゆだねたダビデ」

(ローマ 12:21)

「あくにまけることなく、ぜんをもってあくにかちなさい」(ローマ12:21)とパウロはおしえています。

なにかいやなことをされたり、いじわるをされると、しかえしをしてやろうというおもしろいかわいてきます。でも、しかえしをすると、またそれいじょうのいじわるやいじめをうけることになります。

いまもせかいのくにのなかにはせんそうをつづけているところがあります。なぜせんそうになるのでしょうか。それは、おなじょうなしかえしをするからなのです。たとえば、ばくだんをおとされてまちがこわされました。すると、そのしかえしに、もっとおおくのばくだんをよういしてあいてをこうげきする。こんどはそのことにおこったあいてがもっとおおくのこうげきをしてくる。

いつのじだいにも、そのようなことがおこっていて、それがおわることはありません。

ダビデはサウルにいじめられ、なんどもころされそうになり、にげてもおいかけてころされました。こころもからだもほんとうにつかれてしまっていました。

そんなにげているときに、ダビデにはサウルをころすことができるチャンスがあったのですが、サウルをころそうとはしませんでした。それは、かみさまにすべてをゆだねていたからです。かみさまをしんらいし、かみさまのみてにゆだねたら、わたしたちはそれをあらわすためにも、なにもしてはなりません。かみさまのみてにゆだねる。それがパウロがいった「ぜん」です。

じぶんのこころがわるいことにゆうわくされても、かみさまのみこころがなされることにしんらいし、すべてをゆだねていくことができれば、かみさまからのまもりがあたえられ、へいわがもたらされ、わたしたちはすべてにしょうりができるのです。

## ●かんがえてみよう

☆にげていたダビデが2かいめにサウルとであったとき、ダビデはなんといっていますか。(サムエルきじょう26:18)

☆ダビデのいったことをきいてサウルはなんとへんじをしましたか。(サムエルきじょう26:21)

☆ダビデはサウルからのことばをきいてサウルのところにもどっていきましたか。(サムエルきじょう26:25)



# なみむ聖書

## もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

いのちをおもんじる

				を	ち	の	じ	る
じ		い	ん	も				
		ち	お	じ	る	も	ん	い
ん	も	を					る	じ
い								お
お	ち	じ	も		い		を	
る	ん		じ			を	お	
ち	じ	も	の	お			い	ん
を		お		ち	ん	じ	の	も

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉を。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① さやおおまのり
- ② ぶんのちじみ
- ③ しょうゆち
- ④ せきつい

## まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





# 牧師の 聖書 ななめ読み

「順位変動」

ウクライナの領土が削られようとしています。あつてはならない暴挙ですが、このようなことがたびたび起こり、多くの血が流されてきました。「境」の安定こそが平和の証拠なのかもしれません。

戦国時代や内乱を経て、現在日本の47都道府県の境は確定されています。そこで、みなさんに質問です。その中で一番面積の少ない所はどこでしょうか。私が学生だった時には「大阪府」でした。ところが、今では「香川県」になってしまいました。な

ぜでしょうか。埋め立て地が増えたからです。関西国際空港の分も加わって、さらに差が広がっているようです。面積は変動しないと思っていたのですが、こんなことが起こるのかと思いました。ところが、また今回、驚くべき理由で順位の変動がありました。

それまで35位だった石川県が、福井県を抜いて34位になったと報じられたのです。何が起こったのか。地震です。能登半島地震で地盤が隆起したからです。港から漁船が出られなくなったといったニュースが流れていましたが、その隆起によって千代田区の半分ほどに相当する約5km<sup>2</sup>増え、福井県の面積を0.35km<sup>2</sup>、計算すると東京ドーム約8個分上回ったのだそうです。私たちの想像を超えるような自然の力。ただただ驚きです。

## 聖書ふれあい街歩き

### ●キティムとシホル

ティルスはパレスチナの北にあり、イスラエルと同盟関係にあたり、敵対したりを繰り返していました。ティルスについては、次回に詳しく述べますが、ここではイザヤ書23章に出てくる交易の相手国について触れておきます。

まず1節にあるタルシシュです。この町はヨナ書をはじめ、列王記上10章、詩編72編、エゼキエル27章などでも登場しています。金銀、象牙、猿、孔雀などの高級品がはいつてきたことがわかりますが、今ひとつ、場所がわかっていません。おそらくは現在のスペイン南部だろうとされています。ティルスとしては最も大事な交易相手だったはずです。

次のキティムは以前取り上げたのですが、地中海沿岸の島々、特にキプロス島が有力視されています。フェニキア人とも密接な関係があり、銅、青銅、銀、希少金属などの鉱物や香料などが交易品でした。

次にシホルは国というよりも、ナイル川の西の流れを指します。つまりエジプトです。取引されていたものには、穀物、布、香料、象牙、動物などが考えられます。

これら交易国がティルスの豊かさを支えていたのです。

## ななめ聖書 先週のこたえ

び	だ	わ	を	み	か	は	す	で
で	か	は	わ	す	び	み	だ	を
み	す	を	だ	は	で	わ	び	か
か	わ	み	は	だ	を	び	で	す
を	で	す	か	び	わ	だ	は	み
だ	は	び	み	で	す	を	か	わ
す	び	だ	で	わ	み	か	を	は
わ	を	で	び	か	は	す	み	だ
は	み	か	す	を	だ	で	わ	び

- ①だいしょうり
- ②ふかいのねん
- ③わるいれい
- ④なきもの



## エフェソからマケドニアへ

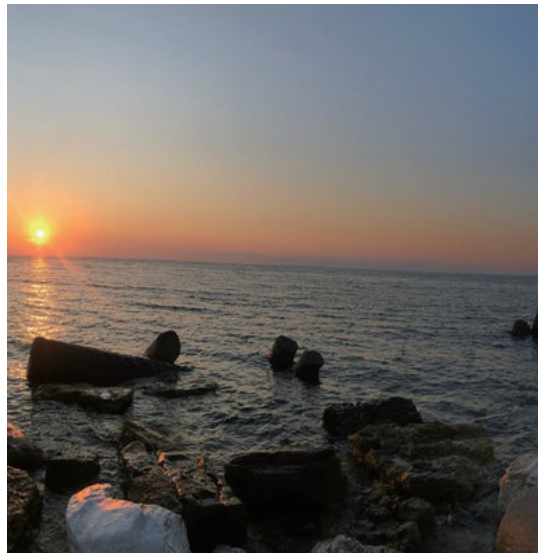
この騒動が収まった後、パウロは弟子たちを呼び集めて励まし、別れを告げてからマケドニア州へと出発した。

そして、この地方を巡り歩き、言葉を尽くして人々を励ました後、ギリシアに来て、そこで三か月間過ごした。

パウロは、シリア州へと船出しようとしていたとき、彼に対するユダヤ人の陰謀が起こったので、マケドニア州を通して帰ることにした。

同行した者は、ピロの子でベレア出身のソパトロ、テサロニケのアリスタルコとセクンド、デルベのガイオ、テモテ、それにアジア州出身のティキコとトロフィモであった。

(使徒言行録20:1~4)



トロアス港跡

## 【再びマケドニアへ】

パウロがエフェソに滞在した、少なくとも二年の間には多くの回心者が起こされていたはずで、その中でも熱心な者たちは指導者となるべく、毎日のようにパウロから教理などについて学んでいたことでしょう。

エフェソはいわゆる中心都市で、エフェソの周囲の町は衛星都市、つまりエフェソに依存していた町でした。エフェソとそれぞれの町を行き来し、生計を立てていた人も多かったと思われ、信徒たちもまた、頻繁に行き来していたわけです。ですから、自然、周囲の町々には「教会」ができ、パウロから直接学んだ信徒たちが指導者として遣わされていきました。マケドニア州に移動する際、「弟子たちを呼び集めた」とありますが、これは指導者クラスの信徒が多かったことだけでなく、エフェソの周辺地域の町に遣わされていた信徒伝道者がいたことを示しています。のちにパウロが書いたエフェソの信徒への手紙は、こうした人々に対して書かれています。

さて、エフェソからマケドニアにはどのような経路で向かったのか。「この地方を巡り歩き」とあるのは、マケドニアに着いてからですので、それ以前の行動は記されていませんので推測することになりますが、まず船を使わなければマケドニアに行くことができませんので、どこから船に乗ったのが問題になります。

マケドニアへと急いでいるならばエフェソから直接マケドニア州のネアポリスあたりに向かうでしょう。しかし、どうでしょう。パウロが急ぐ理由は見えてきません。もし、陸路を選んだならば海路よりも1カ月は違いません。一つでも多くの

町、一人でも多くの人に福音を伝えていくことがパウロの使命です。乗ってしまったら何もできない環境(船員に福音を伝えることはできるでしょう)をあえて選ぶかどうか、です。

さて、アジア州からマケドニア州に渡ることができる港はいくつかあるわけですが、エフェソを利用しなかった場合、最初の伝道旅行でマケドニア州にわたったトロアスが有力候補になります。トロアスまでの約4~500kmの街道には、当然ながらいくつかの町が点在しており、エフェソとの関係から、エフェソで信仰を持った者たちが作った拠点もあったわけです。それを訪問せず、素通りするように海路でマケドニアへ向かうでしょうか。例えば、ペルガモン、ティアティラ、サルデス、スミルナなどがあるのです。そうです。ヨハネの黙示録に登場する教会です。パウロはそれらの教会を訪問しながら、トロアスに向かっていたのではないかと私は思うように思います。

## 【マケドニアの教会】

トロアスで「マケドニア州に渡って来て、私たちを助けてください」との幻を見たパウロは、「神が私たちを招いておられるのだと確信」し、すぐにマケドニア州に向かって出発します(16:9~10)。この行動はキリスト教がアジアからヨーロッパへと宣教を拡大するきっかけとなり、さらには福音が世界へと広がっていく大きな一歩となりました。重要な宣教の局面であり、それ以上に神の招きを確信したからこそ、投獄されても、死に直面しても前に進み続けたのだと思います。それだけ思い入れのあるフィリピをはじめマケドニア州の教会だったのです。

## キリスト教まるわかり Q&A

### ◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

### ◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

### ◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

### ◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

### ◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

### ◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

### ◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

## 2025年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過すために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日に加え、守っています。

### \*\*\*顕現節(1/6～#3/4)\*\*\*

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#3/2)として守ります。

### \*\*\*四旬節(#3/5～#4/12)\*\*\*

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#3/5)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#4/13～4/19)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#4/13)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/17)、十字架にかかれた受難日(#4/18)と過ごしていきます。

### \*\*\*復活節(#4/20～#6/7)\*\*\*

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/20)から始まります。春分の日後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/29)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日#6/1)となります。

### \*\*\*聖霊降臨節(#6/8～#11/29)\*\*\*

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#6/8)から始

まり、三位一体主日(#6/15)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

### \*\*\*待降節(#11/30～12/24)\*\*\*

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/21)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

### \*\*\*降誕節(12/25～1/5)\*\*\*

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

### 【記念日】

母の日(5/11・5月第二)  
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)  
花の日(子どもの日・6/8・6月第二)  
父の日(6/15・6月第三)  
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)  
宗教改革記念日(10/31・1517年)  
収穫感謝日(11/23・11月第四)

### 【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・水)  
成人祝福礼拝(#1/14・1月第二)  
聖書愛読週間(#3/23～29)  
みふみの日(3月23日)  
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/27)  
最後の晩餐集会(#4月17日夕)  
召天者記念合同礼拝(#6/1・6月第二\*今年は第一)  
弾圧記念礼拝(#6月22日・26日前後の主日)  
石出忠師記念礼拝(#7月6日・7月第一)  
敬老祝福礼拝(#9/14・9月第三)  
子ども祝福礼拝(#11/2・11月第一)  
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・水)

## 教会紹介

### ●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

### ●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

#### 【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人の絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

## 教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

## MEMO

## 単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

